

第4次防府市観光振興基本計画

(案)



202*年*月

防 府 市

目次

第1章 計画策定にあたって	3
1. 計画の趣旨	3
2. 計画の位置付け	4
3. 計画の期間	4
4. 計画と「持続可能な開発目標（SDGs）」	5
第2章 観光を取り巻く現状と課題	6
1. 国の動向	6
2. 山口県の動向	9
3. 防府市の現状と課題	12
第3章 計画の方向性	19
1. 基本理念	19
2. 基本方針	19
3. 目標値	20
第4章 施策の展開	21
1. 基本施策	21
2. 実現に向けた取組	22
第5章 計画の推進に向けて	30
1. 推進体制	30
2. 進行管理	30
資料	31
1. 計画策定の経過	31
2. 防府市観光振興推進協議会設置要綱	32
3. 防府市観光振興推進協議会委員名簿	34

第1章 計画策定にあたって

1. 計画の趣旨

防府市は、山口県のほぼ中央に位置しており、約1300年前に「周防の国の国府」が置かれ、海陸の交通の要衝として発展してきた歴史のまちです。また、歴史・文化を体感できる数多くの名所をはじめ、伝統的な祭り、豊かな自然、春夏秋冬に合わせた様々なイベントなどの多彩な観光資源に恵まれ、鉄道や高速道路、飛行機など交通の便も良いことから、県内外から多くの観光客が訪れています。

観光産業は、飲食業や小売業、宿泊業、運輸業など裾野が広く、経済波及効果が高い産業です。観光振興を進めることで、幅広い消費と雇用を生み出し、地域経済の活性化と市民生活の安定・向上が期待できます。また、観光振興の取組を通じ、市民が様々な観光資源の魅力や価値を再認識することは、防府のまちに対する誇りと愛着を育むことにつながります。

このため、本市では、2020年度に「第三次防府市観光振興基本計画」を策定し、『多様性に満ちた地域の「宝」に出会い、輝く「宝」に魅了される「住みたくなる」「訪ねたくなる」まち ほうふ』を目指して、防府観光コンベンション協会などの関係団体と一体となって様々な施策を展開してきました。

コロナ禍で観光需要が落ち込んだ中であっては、本市が誇る歴史ある「すごいぞ！防府」4つの観光拠点（防府天満宮、周防国分寺、毛利氏庭園、阿弥陀寺）を中心としたプロモーションやイベントを継続して実施し、コロナ禍が収束した2023年5月以降は、手厚い団体旅行助成や旅行商品造成、国の補助を活用したインバウンド（※1）対策事業など、V字回復に向けた取組を実施してきたところです。

こうした取組に加え、2024年9月からの「TWILIGHT EXPRESS 瑞風（※2）」の立ち寄りや、2025年1月の「にっぽん丸」をはじめとする複数のクルーズ船寄港などで注目度が高まったこともあり、2024年の観光客数は過去最高の約259万人となりました。

今後、2026年の「山口デスティネーションキャンペーン（以下、DC）（※3）」や2027年の「防府天満宮御神忌1125年式年大祭」という絶好の機会を迎える中、これまでの成果を活かしながら、さらなる観光振興に向けた取組を進めていく必要があります。

また、本市の最上位計画である第6次防府市総合計画では、重点プロジェクトのひとつに「恵まれた資源を活かした交流拡大」を掲げ、観光・スポーツ・文化の振興による交流人口拡大を図り、まちづくりの基本目標である「明るく豊かで健やかな防府」の実現につなげることをとしています。

こうした状況の中、現行計画が最終年度を迎えたことから、改めて観光を取り巻く現状と課題を整理し、本市の観光振興に向けた基本的な方向性や施策を示すため、本計画を策定します。

※1 インバウンド：外国人が日本に観光に来ること。訪日外国人旅行。

※2 「TWILIGHT EXPRESS 瑞風」：JR西日本が運行する寝台列車

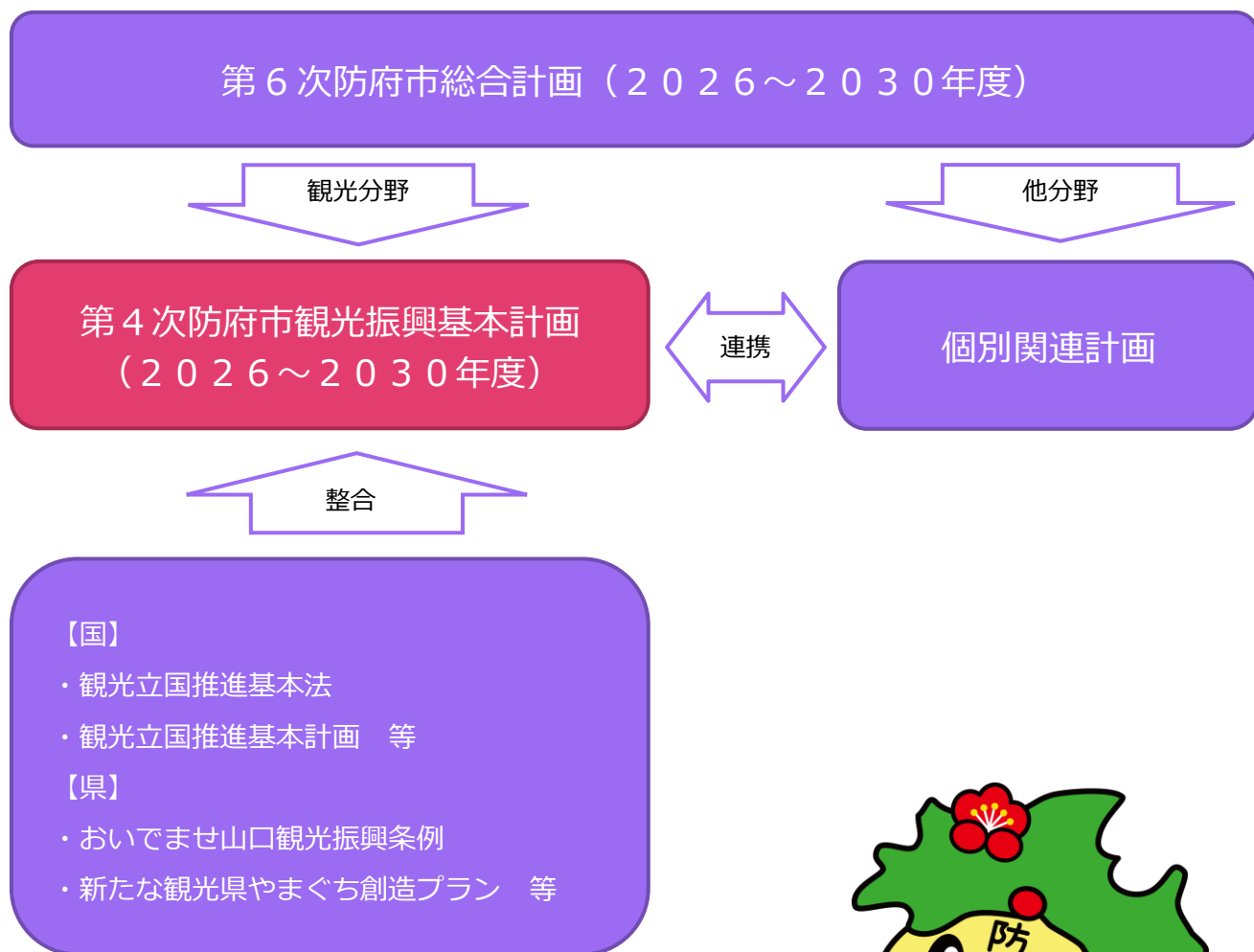
※3 デスティネーションキャンペーン（DC）：自治体とJRグループが地域一体となって観光を盛り上げる、国内最大級の大型観光キャンペーン。

2. 計画の位置付け

本計画は、第6次防府市総合計画における観光分野に関する個別計画として位置付けるものです。

3. 計画の期間

本計画の期間は、2026年度から2030年度までの5年間とします。



ほうふ宣伝部長「ぶっちゃん」

4. 計画と「持続可能な開発目標（SDGs）」

2015年の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」は、17の目標と各目標に紐づく169のターゲットからなる国際目標で、2030年までの達成を目指しています。

国連世界観光機関（UNWTO）は、「すべての目標に対して、観光は直接的、または間接的に貢献する力があり、持続可能な開発目標の達成に向けて、重要な役割を担っている」と宣言しています。

本市においても、歴史や文化、自然などの恵まれた観光資源を次世代に引き継ぐため、持続可能な観光（※1）の実現を目指し、国が策定した「日本版持続可能な観光ガイドライン（JSTS-D）」を参考にしながら本計画を推進します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



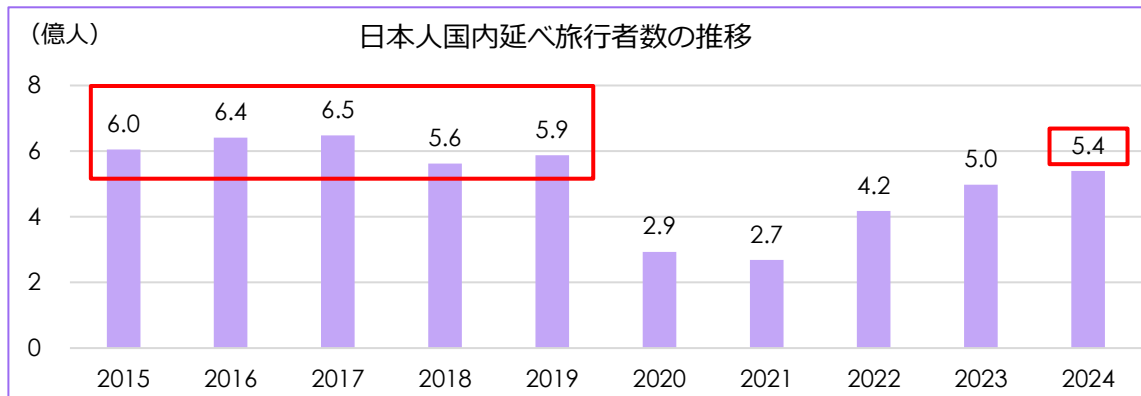
※1 国連世界観光機関（UNWTO）による「持続可能な観光」の定義：「訪問客、産業、環境、受け入れ地域の需要に適合しつつ、現在と未来の環境、社会文化、経済への影響に十分配慮した観光」

第2章 観光を取り巻く現状と課題

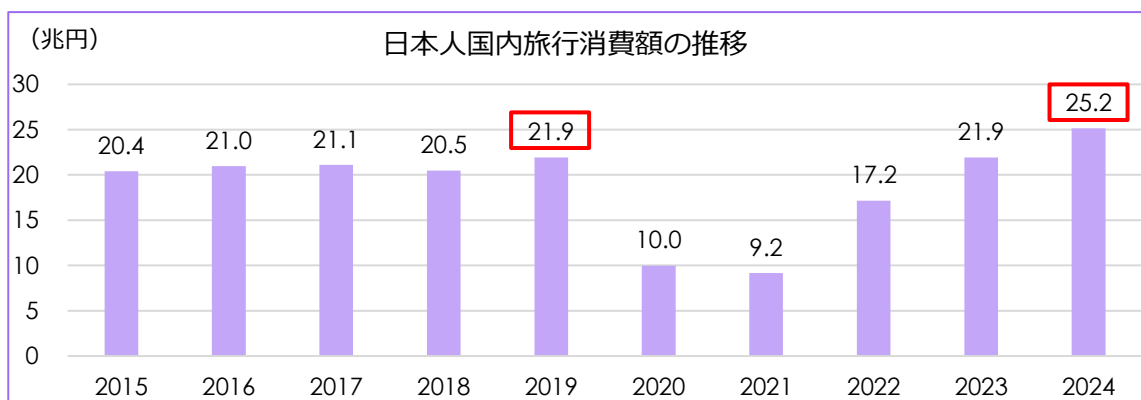
1. 国の動向

(1) 国内旅行の状況

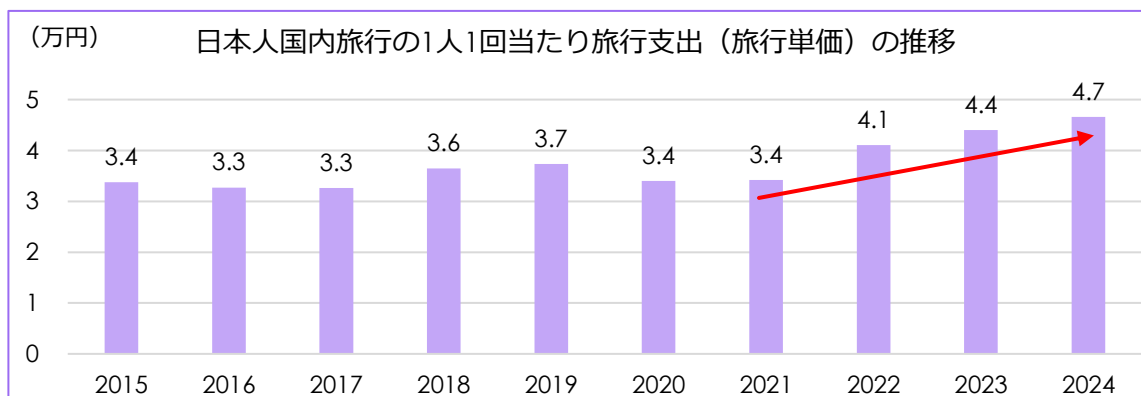
2024年の旅行者数は約5.4億人で、徐々に回復しているものの、コロナ前（2019年）には届いていません。同年の旅行消費額は約25.2兆円でコロナ前を上回っており、1人当たりの旅行単価も近年上昇傾向にあります。



出典：観光庁「旅行・観光消費動向調査」



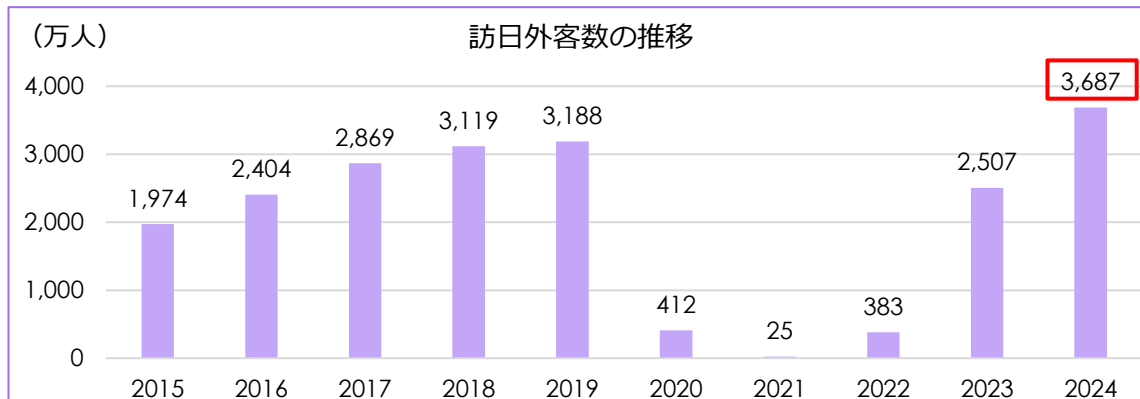
出典：観光庁「旅行・観光消費動向調査」



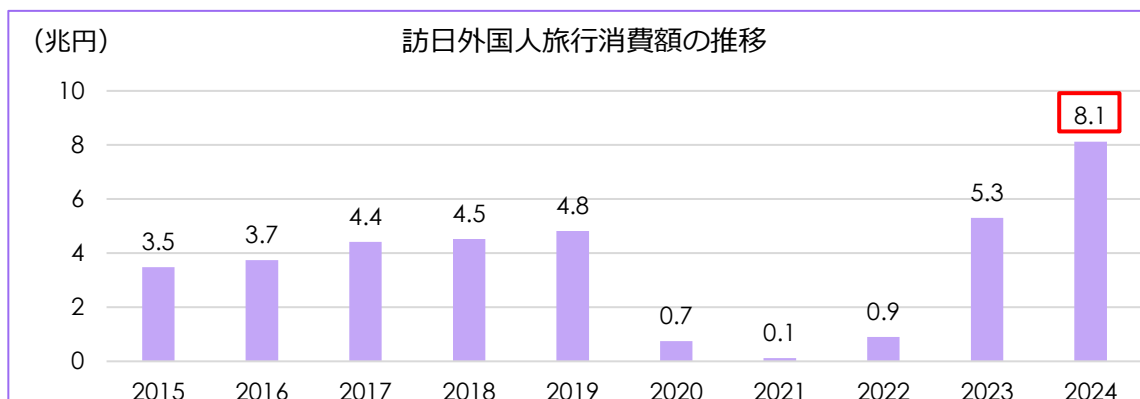
出典：観光庁「旅行・観光消費動向調査」

(2) 訪日外国人旅行の状況

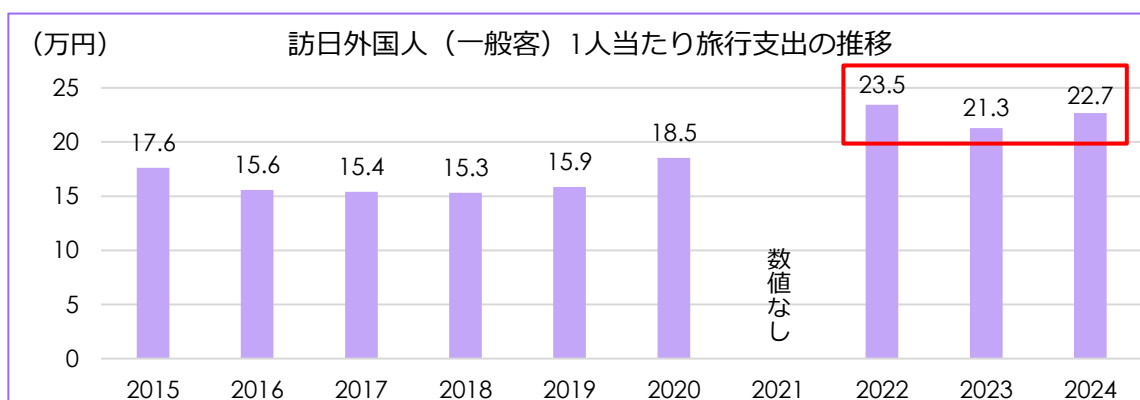
2024年の年間訪日外客数は約3,687万人、訪日外国人旅行消費額は約8.1兆円で、いずれも年間過去最高を更新しました。1人当たりの旅行支出は約22.7万円で、3年連続で20万円を超えています。



出典：日本政府観光局（JNTO）



出典：観光庁「インバウンド消費動向調査（旧訪日外国人消費動向調査）」
※2020年～2022年は試算値



出典：観光庁「インバウンド消費動向調査（旧訪日外国人消費動向調査）」
※2020年・2022年は試算値、2021年は数値なし

(3) 施策の方向性

観光立国推進基本法に基づいて策定された第4次観光立国推進基本計画では、「持続可能な観光地域づくり」「インバウンド回復」「国内交流拡大」に戦略的に取り組み、全国津々浦々に観光の恩恵を行きわたらせることとしています。

○ 観光はコロナ禍を経ても成長戦略の柱、地域活性化の切り札。国際相互理解・国際平和にも重要な役割。

○ コロナによる変化やコロナ前からの課題を踏まえ、我が国の観光を持続可能な形で復活させる。

○ 大阪・関西万博も開催される2025年に向け、「持続可能な観光」「消費額拡大」「地方誘客促進」をキーワードに、「持続可能な観光地域づくり」「インバウンド回復」「国内交流拡大」に戦略的に取り組み、全国津々浦々に観光の恩恵を行きわたらせる。

計画期間：
令和5～7年度
(2023～2025年度)

基本的な方針

持続可能な観光地域づくり戦略

- 観光振興が地域社会・経済に好循環を生む仕組みづくりを推進する
- 観光産業の収益力・生産性を向上させ、従事者の待遇改善にもつなげる
(「稼げる産業・稼げる地域」)
- 地域住民の理解も得ながら、地域の自然、文化の保全と観光を両立させる
(「住んでよし、訪れてよし」)

インバウンド回復戦略

- 消費額5兆円の早期達成に向けて、施策を総動員する
- 消費額拡大・地方誘客促進を重視する
- アウトバウンド復活との相乗効果を目指す

国内交流拡大戦略

- 国内旅行の実施率向上、滞在長期化を目指す
- 旅行需要の平準化と関係人口の拡大につながる新たな交流需要の開拓を図る

目標

- 早期達成を目指す目標：インバウンド消費5兆円、国内旅行消費20兆円
- 2025年目標（質の向上を強調し、人数に依存しない指標を中心に設定）

持続可能な観光地域づくり	地域づくりの体制整備	① 持続可能な観光地域づくりに取り組む地域数(新)	100地域
	インバウンド回復	② 訪日外国人旅行消費額単価(新)	20万円/人
③ 訪日外国人旅行者一人当たり地方部宿泊数(新)		2泊	
④ 訪日外国人旅行者数		2019年水準超え	
国内交流拡大	⑤ 日本人の海外旅行者数	アジア最大・3割以上	
	⑥ 国際会議の開催件数割合	アジア最大・3割以上	
	⑦ 日本人の地方部延べ宿泊者数	3.2億人泊	
	⑧ 国内旅行消費額	22兆円	

主な施策

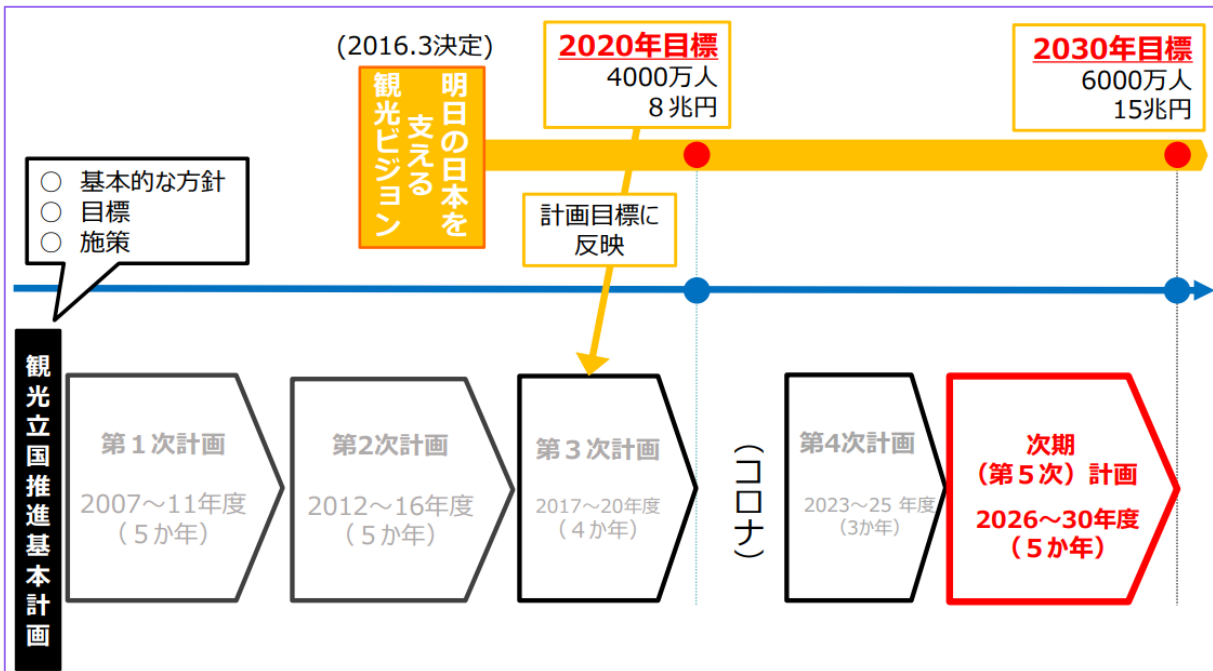
- 観光地・観光産業の再生・高付加価値化
- 観光DX、観光人材の育成・確保
- 持続可能な観光地域づくりのための体制整備等

- コンテンツ整備、受入環境整備
- 高付加価値なインバウンドの誘致
- アウトバウンド・国際相互交流の促進

- 国内需要喚起
- ワークーション、第2のふるさとづくり
- 国内旅行需要の平準化

出典：観光庁「観光立国推進基本計画（第4次）概要（抜粋）」

また、現行計画の計画期間が2025年度までとなっていることから、2030年訪日観光客数6,000万人・消費額15兆円を目標とする新たな観光立国推進計画を策定し、2025年度末までの閣議決定を目指すこととしています。（2025.9現在）

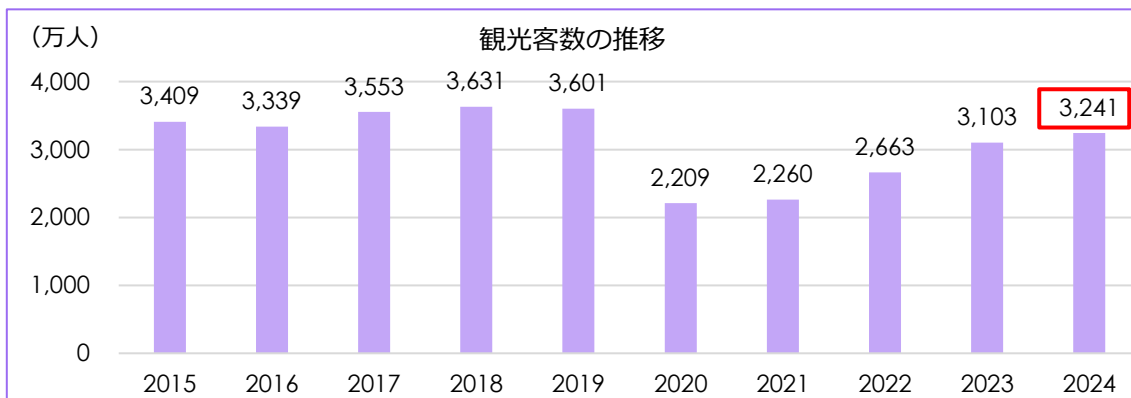


出典：観光庁「観光立国推進基本計画の改定について（抜粋）」

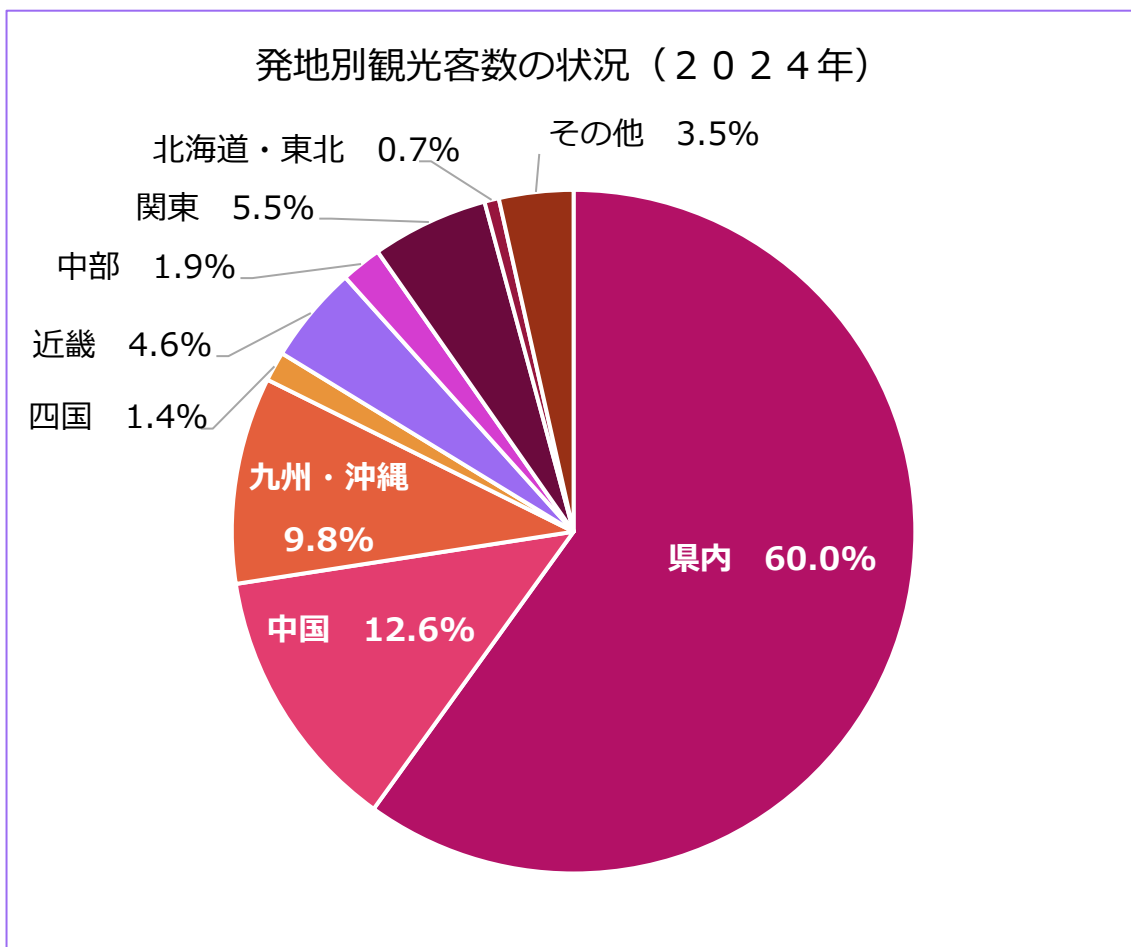
2. 山口県の動向

(1) 観光客の状況

2024年の観光客数は約3,241万人で、コロナ前の水準まで回復しています。発地別観光客数の状況では、県内、中国、九州・沖縄からの観光客が約8割となっています。



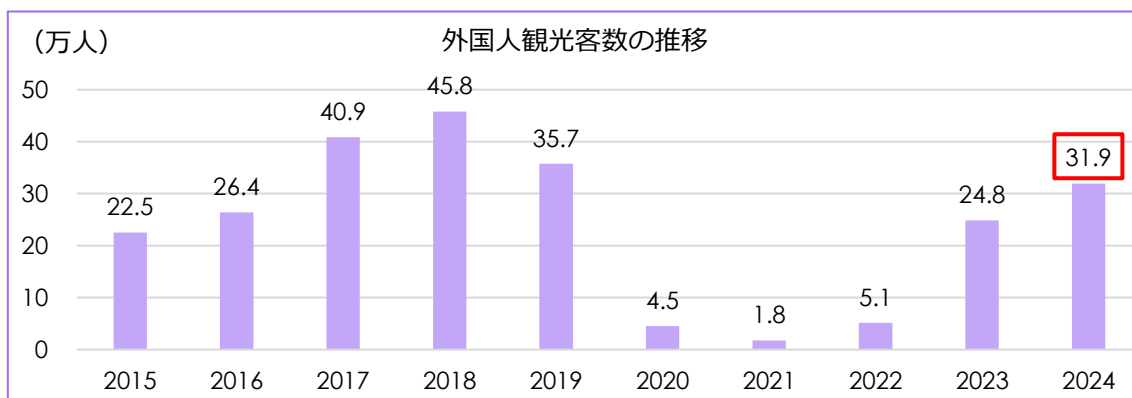
出典：山口県「山口県の宿泊者及び観光客の動向」



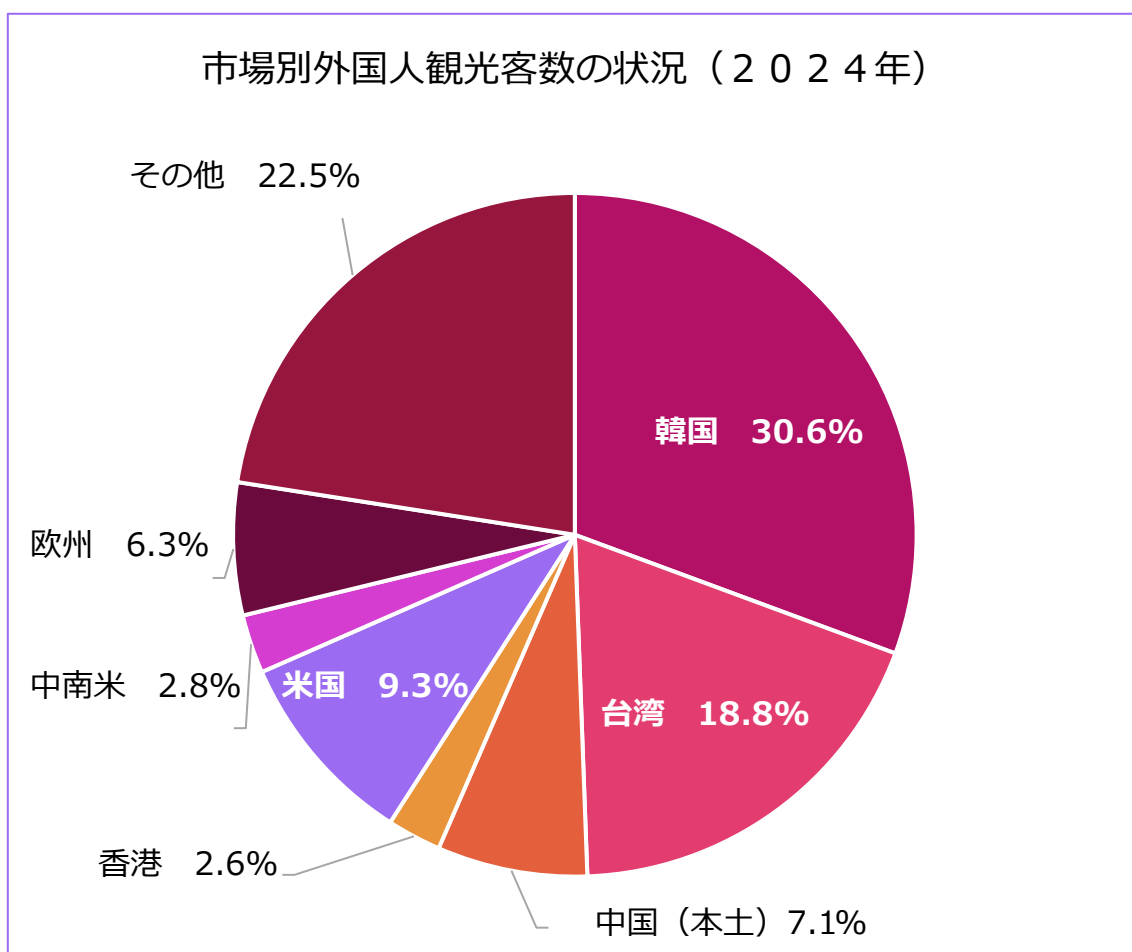
出典：山口県「令和6年山口県の宿泊者及び観光客の動向」

(2) 外国人観光客の状況

2024年の外国人観光客数は約31.9万人で、回復傾向にあります。市場別では、韓国、台湾など東アジアからの観光客が約6割を占めています。



出典：山口県「山口県の宿泊者及び観光客の動向」



出典：山口県「令和6年山口県の宿泊者及び観光客の動向」

(3) 施策の方向性

「新たな観光県やまぐち創造プラン（計画期間2022～2026年度）」では、4本の施策の柱に「新たなニーズを捉えた持続可能な観光地域づくり」「観光客の心をつかむ戦略的なプロモーションの展開」「やまぐちの多彩な魅力を活かした幅広い交流促進策の推進」「反転攻勢に向けた誘客対策の強化によるインバウンドの拡大」を定め、施策を推進することとしています。

また、令和8年秋に開催が決まった「山口デスティネーションキャンペーン」に向け、「万福の旅 おいでませ ふくの国、山口」のもと、全国からの誘客と県内周遊を促進し、県内観光産業の活性化や観光県としてのブランディングを図ることとしています。

1 基本的な方向	
《目指す姿》	
新たな時代をリードする観光県やまぐちの創造	
本県観光の新たな時代をリードする観光振興を進め、国内外の観光客が満足し、地域の住民が様々な形で将来に渡る豊かさを享受する「観光県やまぐち」を創造します。	
2 施策体系	
本県観光の目指すべき姿に向け、前章で述べた、本県観光の状況と課題を踏まえ、以下、4本の施策の柱と計16の基本施策を定め、施策を推進します。	
施策の4本の柱と基本施策	施策の柱1「新たなニーズを捉えた持続可能な観光地域づくり」 ＜基本施策＞ (1) やまぐちの特色を活かした持続可能なツーリズムの推進 (2) 「やまぐちDMO」を核とした魅力ある観光地域づくりの推進 (3) 観光客の満足度を高めるおもてなしの推進 (4) 観光消費額を高める付加価値の高い商品・サービスの開発 (5) 観光客の安心・安全の確保
	施策の柱2「観光客の心をつかむ戦略的なプロモーションの展開」 ＜基本施策＞ (1) 観光需要の拡大に向けた効果的なプロモーションの展開 (2) プロモーション力を高めるデジタル技術の活用
	施策の柱3「やまぐちの多彩な魅力を活かした幅広い交流促進策の推進」 ＜基本施策＞ (1) スポーツの力を活用した交流促進 (2) 多彩な文化資源を活用した文化観光の推進 (3) 国際交流の推進 (4) MICE誘致による交流人口の拡大 (5) 交流を活発化する交通ネットワークの機能強化 (6) 新たな人の流れを呼び込むワーケーションの推進
	施策の柱4「反転攻勢に向けた誘客対策の強化によるインバウンドの拡大」 ＜基本施策＞ (1) 大阪・関西万博の開催などを見据えた海外からの誘客対策の強化と受入環境の充実 (2) クルーズ船の誘致推進 (3) 国際航空路線等の再開・定着

出典：山口県「新たな観光県やまぐち創造プラン（抜粋）」

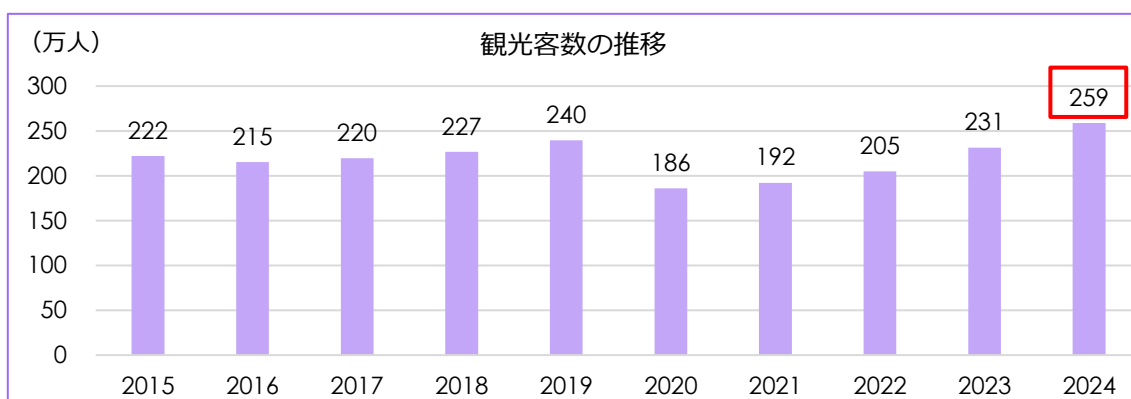
3. 防府市の現状と課題

(1) 現状

① 観光客数

新型コロナウイルスの影響により一旦落ち込みましたが、国や県の観光需要喚起策や、市のV字回復事業などにより順調に回復してきました。

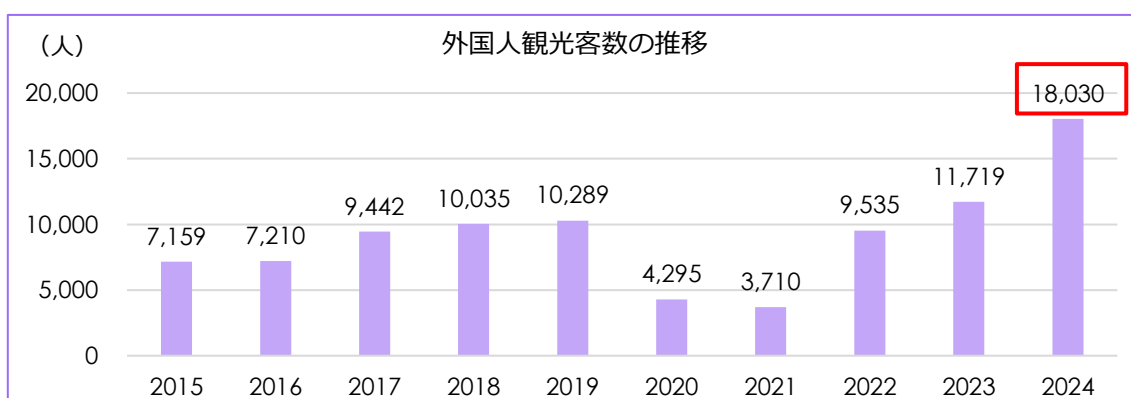
そうした中、JR西日本が運行する「TWILIGHT EXPRESS 瑞風」の立寄観光地に毛利氏庭園・毛利博物館が選ばれたことや、隣接する山口市がニューヨーク・タイムズ紙に掲載されたことなどにより、2024年の観光客数は過去最高の約259万人（2,589,062人）となりました。



出典：山口県「山口県の宿泊者及び観光客の動向」

② 外国人観光客数

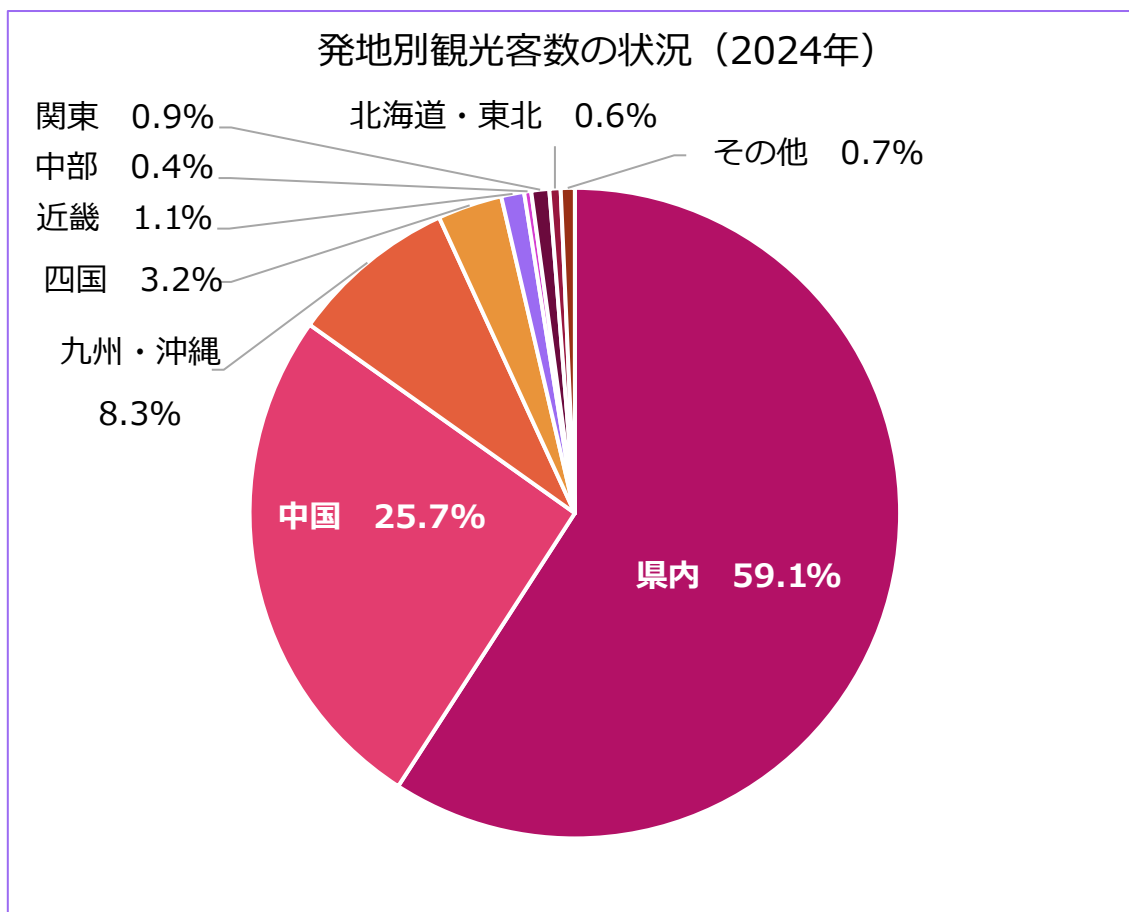
全体に占める割合は低いものの増加傾向にあり、2024年は約1.8万人となりました。



出典：山口県「山口県の宿泊者及び観光客の動向」

③ 発地別観光客数

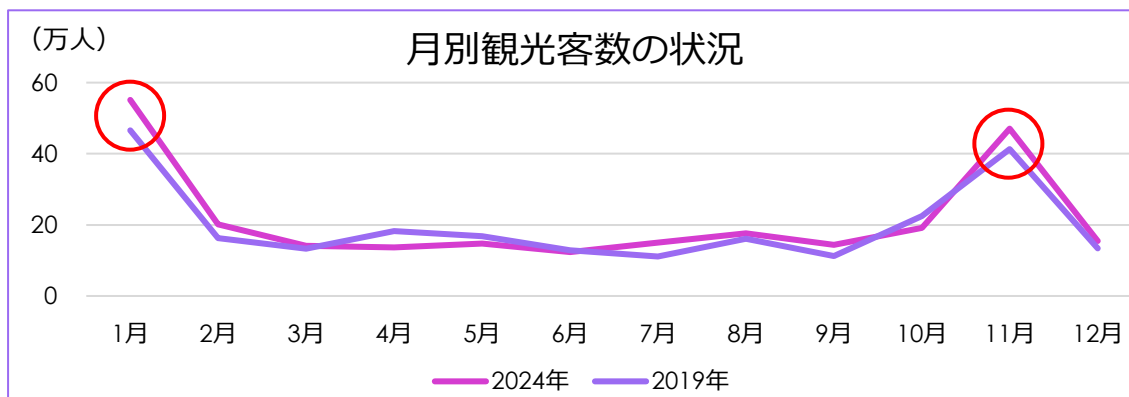
県内、中国地方、九州・沖縄地方からの観光客が約9割を占めており、県全体（約8割）に比べて高い傾向にあります。



出典：山口県「令和6年山口県の宿泊者及び観光客の動向」

④ 月別観光客数

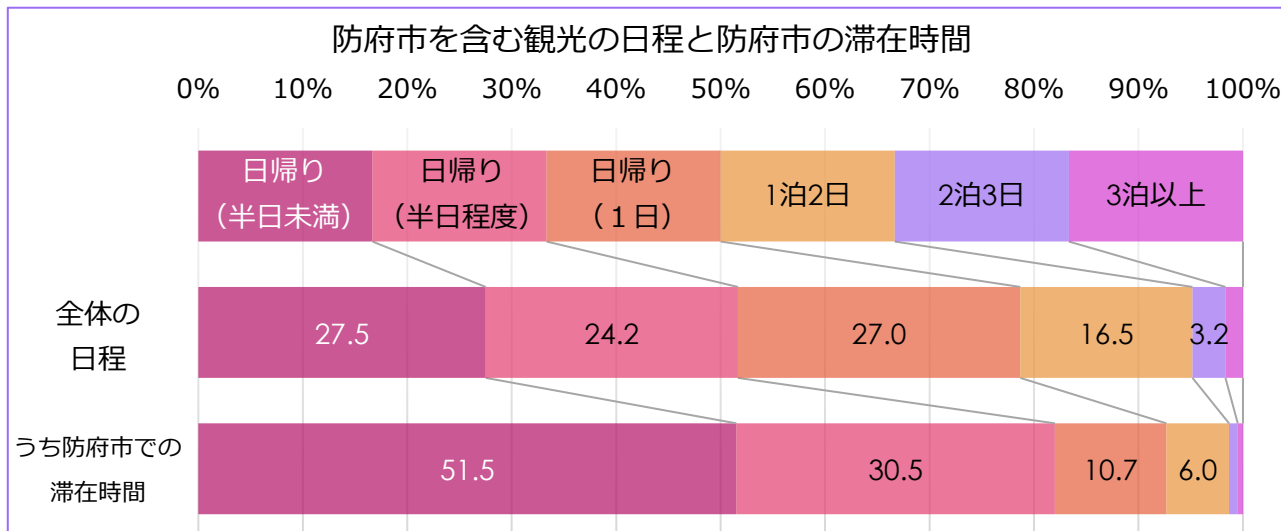
防府天満宮が特に賑わう1月（初詣）と11月（御神幸祭）に集中しており、コロナ前と傾向は変わっていません。防府天満宮から市内観光地への周遊促進や、比較的少ない時季の新たな誘客促進が求められます。



出典：山口県「山口県の宿泊者及び観光客の動向（令和元年、令和6年）」

⑤ 滞在時間

観光客の9割以上が日帰りで防府市に訪れています。

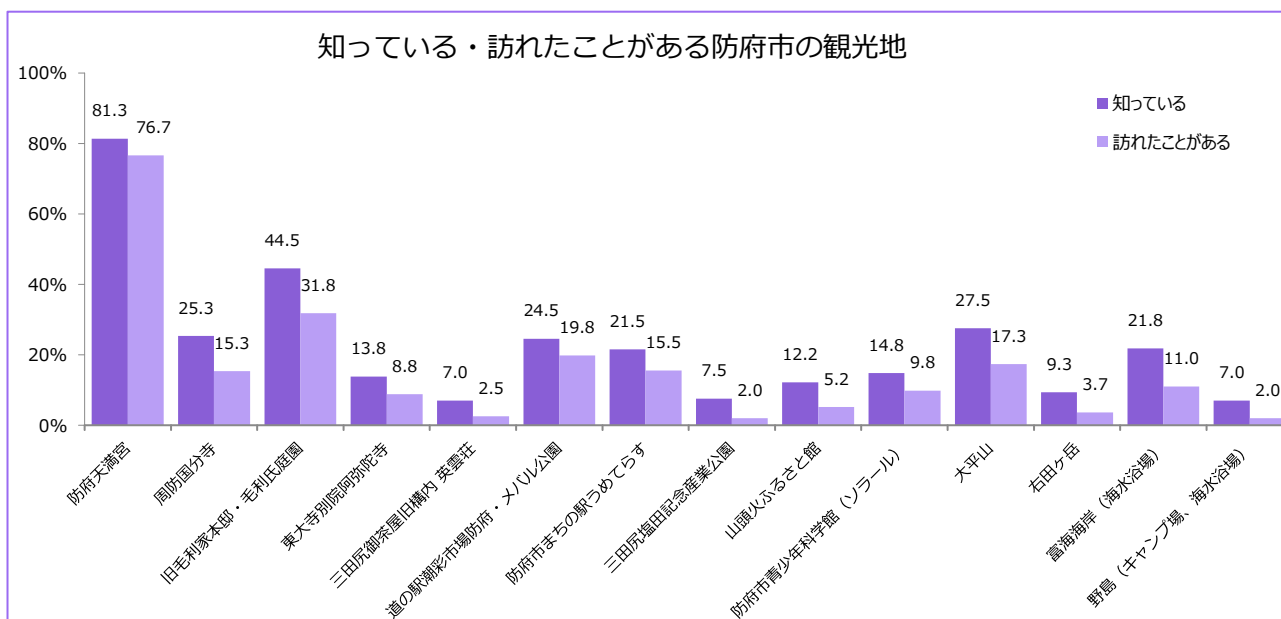


出典：防府市「WEBアンケート調査」

⑥ 認知率・来訪率

防府天満宮の認知率・来訪率が約8割と突出しており、次いで旧毛利家本邸・毛利氏庭園が高い値となっています。このほか、大平山、周防国分寺、潮彩市場防府・メバル公園、まちの駅うめてらすの値が比較的高く、認知率の低い施設については積極的な情報発信が必要です。

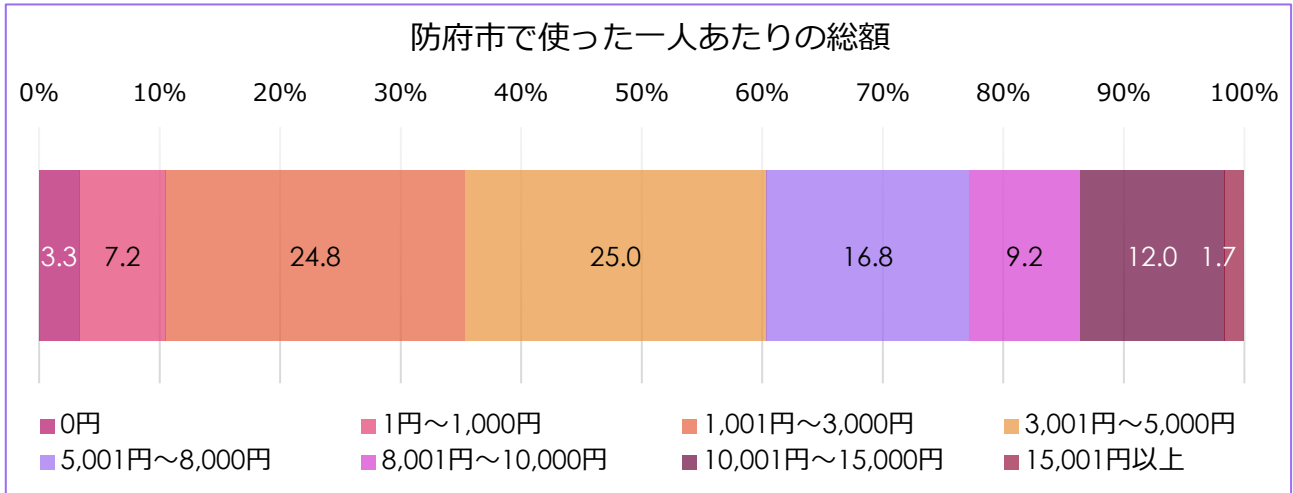
また、観光施設のうち、三田尻塩田記念産業公園、英雲荘、山頭火ふるさと館は認知率と来訪率が乖離しており、「知っているが訪れていない」状況が見て取れます。効果的な情報発信やさらなる魅力の向上など、来訪を促す取組が求められます。



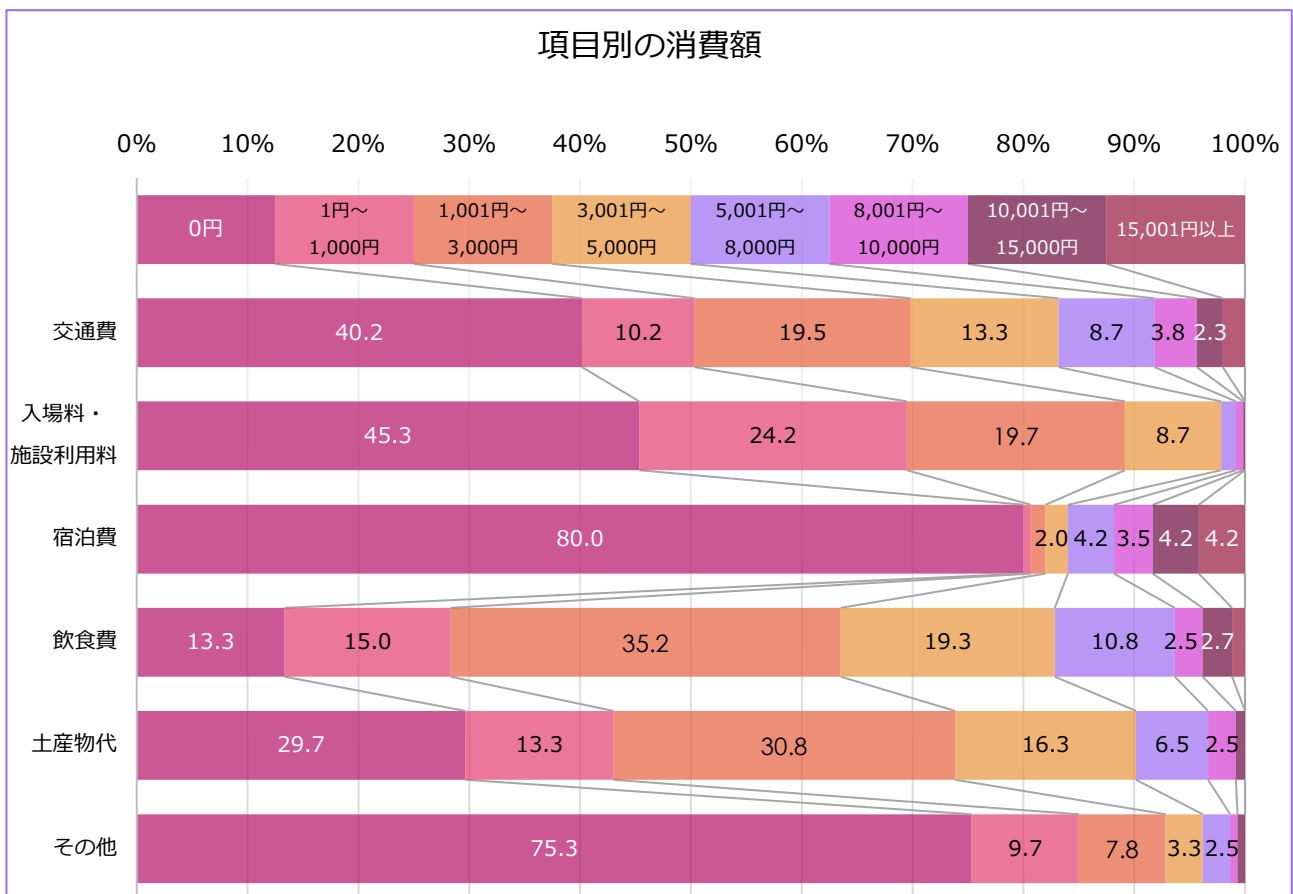
出典：防府市「WEBアンケート調査」

⑦ 消費額

観光客の8割以上が10,000円以下の消費となっています。項目別では飲食・土産物での消費が多く、宿泊の消費が少ない状況となっています。滞在時間の延長や周遊の促進、消費につながる新たな観光商品の造成など、消費額を押し上げる取組が求められています。



出典：防府市「WEBアンケート調査」



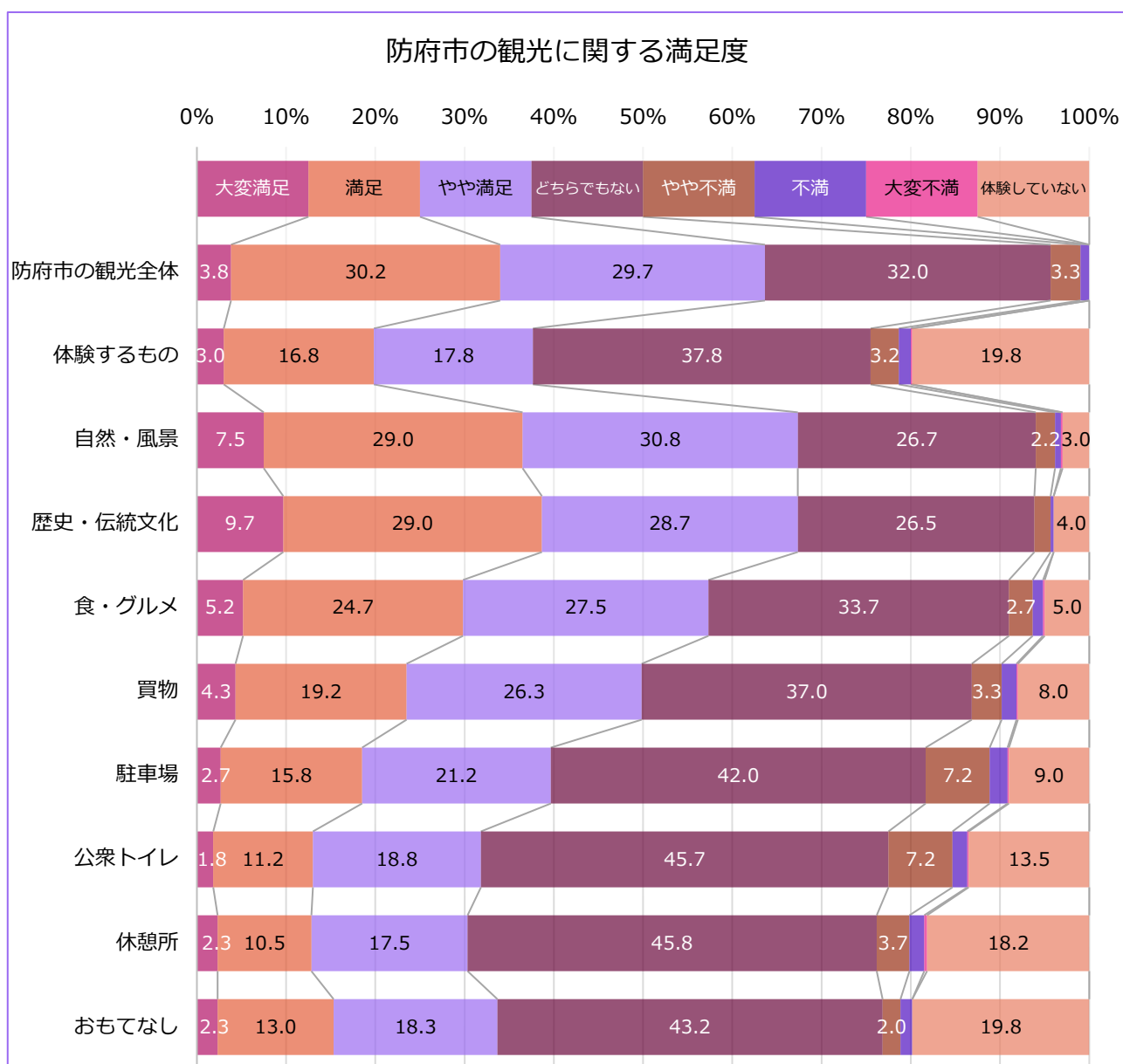
出典：防府市「WEBアンケート調査」

⑧ 満足度

防府市での観光全体には6割強が概ね満足しています。項目別では、歴史・伝統文化、自然・風景について7割近くが満足しており、次いで食・グルメ、買物の満足度が高くなっています。

駐車場やトイレに対して不満を感じている割合が比較的高く、適切な維持管理や施設情報の発信はもとより、混雑時の臨時施設の設置などを含めた検討が必要です。

体験するものやおもてなしは未体験の割合が高く、積極的な情報発信や新たな体験型観光商品の造成により、満足度の向上が期待できます。



出典：防府市「WEBアンケート調査」

(2) 第3次観光振興基本計画の達成状況

2021年度からの5年間を計画期間とした「第3次防府市観光振興基本計画」では、『多様性に満ちた地域の「宝」に出会い、輝く「宝」に魅了される「住みたくなる」「訪ねたくなる」まち ほうふ』を目指す姿として掲げ、本市の構成要素である「自然」「歴史」「スポーツ」「生活文化」をベースに、「観光地」「食」「おもてなし」を展開方針として具体的な取組を整理し、観光地域づくりを進めてきました。

観光需要が大きく落ち込んだコロナ禍にあっても柔軟に対応し、イベントの継続開催やアフターコロナを見据えた情報発信など、多くの取組を進めることができました。

目標値については、いずれも達成することができておらず、特に、観光客の消費額や満足度といった地域経済の活性化に直結する指標は低調となっています。この要因としては、計画に掲げた駐車場確保や食に関する取組など、一部が実施保留となったことや、指標の上昇につながる具体的な取組が不足していたことが考えられます。

また、指標に用いた地域ブランド調査による認知度は向上しなかったものの、2024年の観光客数が過去最高の約259万人となったことなどから、情報発信の取組には一定の成果があったものと評価しています。

重要目標達成指標 (KGI) 及び重要業績評価指標 (KPI) の状況							
【重要目標達成指標 (Key Goal Indicator)】							
指標	当初	2021年	2022年	2023年	2024年	目標値 (2025年)	
① 市民の重要度 (観光振興)	(2019年) 1,20ポイント	-	-	-	-	1,50ポイント	
② 観光客の満足度	(2020年) 1,43ポイント	(2021年) 1,59ポイント	(2022年) 1,59ポイント	(2023年) 1,63ポイント	(2024年) 1,41ポイント	2,00ポイント	
〈算出方法〉 ①市民アンケート調査 ②WEB等アンケート調査							
【重要業績評価指標 (Key Performance Indicator)】							
指標	当初	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	目標値 (2025年)
① 認知度向上 (1,000市区町村中)	(2019年) 439位	(2020年) 467位	(2021年) 491位	(2022年) 503位	(2023年) 480位	(2024年) 490位	300位以内
② 観光入込客数	(2019年) 2,397,000人	(2020年) 1,861,637人	(2021年) 1,922,310人	(2022年) 2,048,936人	(2023年) 2,314,695人	(2024年) 2,589,062人	3,000千人
③ 一人当たりの観光消費額	(2020年) 5,722円	~	(2021年) 5,626円	(2022年) 4,999円	(2023年) 5,448円	(2024年) 5,078円	10,000円
〈算出方法〉 ①地域ブランド調査の「認知度」 ②防府市で実施している調査 ③WEB等アンケート調査							

(3) 課題

本市の観光を取り巻く現状を踏まえ、今後の観光振興に向けた課題を整理します。

➤ 効果的な情報発信

本市は「すごいぞ！防府」4つの観光拠点をはじめとする多くの観光資源を有しており、徐々に体験型観光商品も充実してきています。本市が誇る歴史や文化、産業、自然、食などの魅力をしっかりと伝え、さらなる誘客や周遊・再来訪の促進を図るため、これまで以上に効果的な情報発信が必要です。また、本市へ訪れる観光客の傾向や、経済・文化的な繋がりなどから、国内は中国地方や九州地方、国外は台湾や韓国といった東アジアを主なターゲットとして魅力を発信することが効果的と考えられます。

➤ 受入環境の整備

2024年の本市観光客数は過去最高となりました。全国的な観光需要の拡大に加え、今後、山口DCや防府天満宮御神忌1125年式年大祭という絶好の機会を迎えることから、さらなる観光客の増加が見込まれます。訪れた観光客に快適な滞在時間を過ごしてもらうため、さらなる受入環境の整備が必要です。また、国が引き続きインバウンドの拡大を目標に掲げていることや、クルーズ船の寄港が活発となっていることなどから、外国人観光客の受入に向けた環境整備も必要です。

➤ 消費を促し満足度を高めるおもてなしの充実

全国的に観光消費額が増加傾向にあり、本市においても消費額を伸ばす余地があります。日帰り観光客が大半を占める本市にあって、消費額の増加や滞在時間の延長、市内周遊などにより地域経済の活性化につなげ、さらには観光客の満足度向上を図るため、新たな体験型観光商品の造成や多彩なイベントの開催、人材育成など、おもてなしの充実が必要です。



第3章 計画の方向性

1. 基本理念

観光振興を進めるにあたり、次の基本理念（目指す姿）を掲げます。

**1300年の時に触れ、心満たされる、
“また来たくなる” “勧めたくなる” まち 防府**

防府市は、約1300年前に「周防の国の国府」が置かれ、発展し続けてきた歴史のまちです。

これまで継続してきた情報発信などにより、「歴史のまち 防府」の認知度は高まっており、2024年は過去最高の観光客数となりました。

本計画では、「歴史のまち 防府」を訪れた観光客の心が満たされ、「防府にまた来たい」「防府を勧めたい」と感じ、市民が防府への誇りと愛着を持って「防府を勧めたい」と感じられるまちを目指します。

そして、人（観光客、市民）が人（観光客）を呼び込む好循環を生み出し、第6次防府市総合計画の基本目標である「明るく 豊かで 健やかな 防府」の実現につなげていきます。

2. 基本方針

基本理念（目指す姿）に向け、本市の観光を取り巻く現状と課題を踏まえて次の基本方針を定めます。

基本方針 1

心動かす効果的な情報発信

基本方針 2

心地よい滞在環境の整備

基本方針 3

心弾むおもてなしの充実

3. 目標値

本計画の進捗状況を検証するため、下記の目標値を定めます。

①観光客数

人口減少・少子高齢化が進み、国内観光客数は減少傾向にあります。国内観光客が大半を占める本市にあっては、2025年の目標値である年間300万人を継続し、2030年300万人を目指します。

②外国人観光客数

国の目標である2030年6,000万人（2024年約3,687万人）と同程度の増加を見込み、2030年3万人（2024年約1.8万人）を目指します。

③観光客の満足度

滞在環境の整備やおもてなしの充実を図り、2030年2.00ポイント（2024年1.41ポイント）を目指します。

④観光客1人当たりの観光消費額

新たな体験型観光商品の造成・販売や、滞在時間延長につながる取組を進め、2030年10,000円（2024年5,078円）を目指します。

指標	現在値（2024年）	目標値（2030年）
①観光客数	約259万人	300万人
②外国人観光客数	約1.8万人	3万人
③観光客の満足度	1.41ポイント	2.00ポイント
④観光客1人当たりの観光消費額	5,078円	10,000円

【算出方法】

- ①・②：山口県「山口県の宿泊者及び観光客の動向」公表値による
- ③・④：WEBアンケート調査による

第4章 施策の展開

1. 基本施策

基本方針ごとに基本施策を定め、施策を推進します。

基本理念 1300年の時に触れ、心満たされる、
“また来たくなる” “勧めたくなる” まち 防府

基本方針1 心動かす効果的な情報発信

【基本施策】

- (1) 観光需要を取り込む効果的な情報発信
- (2) 連携で進める積極的な売り込み

基本方針2 心地よい滞在環境の整備

【基本施策】

- (1) 歴史・文化を体感できる環境づくり
- (2) 安心で快適な環境づくり

基本方針3 心弾むおもてなしの充実

【基本施策】

- (1) 恵まれた観光資源を活かしたおもてなし
- (2) 官民連携による多彩なイベントの開催
- (3) 防府への誇りと愛着を持ったおもてなし人材の育成

2. 実現に向けた取組

基本理念の実現に向け、基本施策ごとに取組を進めます。

なお、【重点】は第6次防府市総合計画における観光分野の重点プロジェクトに掲げた取組、【集中展開】は期間を集中して進める取組を示しています。

基本方針1 心動かす効果的な情報発信

(1) 観光需要を取り込む効果的な情報発信

恵まれた観光資源の魅力を国内外に向けて発信し、着実に誘客につなげるため、ターゲットの特性に応じた情報や媒体の選択により、旅マエ（旅行前）の観光客に向けた効果的な情報発信に取り組みます。また、再来訪やクチコミの拡散につなげるため、旅アト（旅行後）を意識した情報発信に取り組みます。

【主な取組】

- ・国内外に向けた「すごいぞ！防府」4つの観光拠点の魅力発信【重点】
- ・防府天満宮御神忌1125年式年大祭などの歴史的な節目を契機とした情報発信
【重点・集中展開：R8】
- ・「TWILIGHT EXPRESS 瑞風」の立ち寄りを活かした情報発信【重点】
- ・新山口駅や山口宇部空港などの主要交通拠点を活用した情報発信【重点】
- ・「すごいぞ！防府」4つの観光拠点を舞台とした歴史観光講演会の開催
【重点・集中展開：R8】
- ・笑い講（小俣八幡宮）や占手神事（玉祖神社）などの伝統行事の魅力発信
- ・周防国衙跡や英雲荘、萩往還、旧山陽道、三田尻塩田記念産業公園、山頭火ふるさと館などの歴史・文化施設の魅力発信
- ・右田ヶ岳や大平山、佐波川、富海・野島の美しい海などの豊かな自然の魅力発信
- ・テレビ・ラジオ・新聞など既存マスメディアを活用した、県内・中国・九州地方を主なターゲットとした情報発信
- ・ホームページやSNSを活用した情報発信
- ・情報伝達力の高い動画による情報発信
- ・多彩な観光資源を巡るモデルコースの造成・情報発信
- ・ほうふ宣伝部長「ぶっちー」による情報発信
- ・山口県央連携都市圏域や周南観光連携協定などの広域連携を活かした情報発信
- ・AIなどのデジタル技術の活用

(2) 連携で進める積極的な売り込み

山口県や防府観光コンベンション協会、防府商工会議所などと連携した積極的なプロモーション活動により、旅行会社等に防府を売り込み、さらなる誘客や新たな観光資源の創造に取り組みます。

【主な取組】

- ・山口DCを活かしたJRグループや山口県などと連携したプロモーション・売り込み強化・旅行商品造成支援【重点・集中展開：～R9】
- ・チャーター便（※1）の就航やクルーズ船の寄港を活かした、台湾や韓国などの東アジアを主なターゲットとした誘客【重点】
- ・山口県などと連携した海外現地でのプロモーション
- ・国内外の旅行会社等に向けた各種商談会での売り込み
- ・官民連携で進めるクルーズ船の誘致
- ・防府観光コンベンション協会や防府商工会議所などと連携したロケ誘致
- ・団体旅行助成金による旅行商品造成支援



「TWILIGHT EXPRESS 瑞風」



山口宇部空港のタペストリー



クルーズ船のお見送り



イベントでの観光プロモーション



笑い講（小俣八幡宮）



商談会での売り込み

※1 チャーター便：特定の目的のために運行される不定期便。本計画では、観光を目的とした山口宇部空港への航空便を指す。

基本方針2 心地よい滞在環境の整備

(1) 歴史・文化を体感できる環境づくり

本市には、周防国分寺（奈良時代創建）、防府天満宮（平安時代創建）、阿弥陀寺（鎌倉時代創建）、毛利氏庭園・毛利博物館（大正時代竣工・平安以降各時代の文化財所蔵）をはじめ、古代から近現代に至るまでの歴史・文化を物語る数多くの名所・施設があり、多くの観光客が訪れる満足度の高い資源となっています。

これらの魅力をさらに向上させるとともに、適正な維持管理や保存・整備に取り組み、「TWILIGHT EXPRESS 瑞風」に選ばれた「歴史のまち 防府」にふさわしい環境を整え、滞在時間延長や再来訪、さらなる誘客を促進します。

【主な取組】

- ・市道天神町協和線の整備やタペストリー設置などの景観整備による、防府天満宮表参道周辺のさらなる魅力向上【重点・集中展開：～R10】
- ・歴史的建造物や文化財の整備・保存・継承【重点】
- ・「TWILIGHT EXPRESS 瑞風」の立ち寄りを活かした景観やまちなみの保全・整備
- ・英雲荘や三田尻塩田記念産業公園、山頭火ふるさと館など、防府の歴史や文化を今に伝える文化観光施設の維持管理・魅力向上
- ・周防国衙跡の活用促進



毛利氏庭園



三田尻御茶屋旧構内 英雲荘



三田尻塩田記念産業公園



周防国衙跡

(2) 安心で快適な環境づくり

本市を訪れる観光客が安心して快適に過ごすことができるよう、受入環境を整備します。

【主な取組】

- ・観光案内看板や観光パンフレットなどの整備・多言語化【重点】
- ・観光案内所の運営・維持管理
- ・まちの駅うめてらす、サイクリングターミナルなど、交流や滞在の拠点となる施設の維持管理・魅力向上
- ・富海・野島海水浴場の環境美化・安全管理
- ・観光駐車場や観光用公衆トイレ、休憩施設の維持管理・整備
- ・大規模イベント時などの駐車場やトイレの臨時設置
- ・レンタサイクルサービスの充実
- ・二次交通（※1）や宿泊施設、赤ちゃんの駅（※2）などに関する情報の収集と発信
- ・うめてらすネットワーク（※3）などと連携した観光案内機能等の充実
- ・A Iなどのデジタル技術の活用（再掲）



主要観光地バス停の多言語化



防府市観光案内所（防府駅構内）



富海海水浴場



野島海水浴場

- ※1 二次交通：空港や鉄道駅などの交通拠点から観光地までの交通。本計画では、主に防府駅から観光地までを結ぶバスや、タクシー、レンタサイクルを指す。
- ※2 赤ちゃんの駅：おむつ交換シートや授乳室等が設置してある施設
- ※3 うめてらすネットワーク：まちの駅うめてらす周辺地域の事業者を会員とする、防府天満宮周辺の活性化などに取り組む会

基本方針3 心弾むおもてなしの充実

(1) 恵まれた観光資源を活かしたおもてなし

観光消費額の増による地域経済活性化や旅ナカ（旅行中）の満足度向上を図るため、歴史、文化、産業、自然、食などの観光資源を活かした体験型観光商品の造成・販売によるコト消費の促進や、観光商品の連携による周遊促進などに取り組みます。

【主な取組】

- ・山口DCを活かした体験型観光商品の造成・販売【重点・集中展開：～R9】
- ・国や県の事業を活用した観光商品の造成・販売促進【重点】
- ・富海・野島での海水浴や右田ヶ岳での登山など、豊かな自然を活かした体験の提供【重点】
- ・山口県央連携都市圏域や周南観光連携協定などの広域連携を活かした周遊事業の実施【重点】
- ・観光資源や体験型観光商品などの連携による市内周遊を促す仕掛けづくり
- ・外郎や練り物など魅力的な土産物のさらなる充実
- ・夏の「鱧」、冬の「河豚」の継続的な販売
- ・ほうふ宣伝部長「ぶっちー」によるおもてなし



旧毛利家本邸で味わうアフタヌーンティー体験



ほうふ着物体験と芳松庵の抹茶体験（防府天満宮）



阿弥陀寺石風呂体験



まちなか登山（右田ヶ岳）

(2) 官民連携による多彩なイベントの開催

防府観光コンベンション協会や防府商工会議所のほか、企業や市民との連携協力により多彩なイベントを開催し、賑わいを創出します。

【主な取組】

- ・春夏秋冬に合わせた「幸せますフェスタ」の開催【重点】
- ・“もちまき文化”の魅力を活かした賑わいの創出【重点】
- ・毛利家本邸完成110周年（2026年）などの歴史的な節目を活かしたイベントの開催
- ・英雲荘や三田尻塩田記念産業公園、山頭火ふるさと館などの文化観光施設を活用したイベント等の開催
- ・防府読売マラソンやレノファ山口、防府競輪などのスポーツ資源と連携した賑わいの創出



防府おどり



佐波川こいながし



幸福（さちふく）もちまき
キャラクター「さち」「ふく」

(3) 防府への誇りと愛着を持ったおもてなし人材の育成

地域の観光資源に対する理解を深め魅力を再認識することにより、誇りと愛着を育むとともに、観光客を温かく迎え入れるおもてなし人材を育成します。

【主な取組】

- ・教育機関等と連携した観光教育への参画
- ・「防府歴史・文化財読本」等を活用したふるさと防府に対する誇りと愛着の醸成
- ・観光ガイドの育成・支援



松崎小学校子ども観光振興課の授業風景



高校生による旧毛利邸ガイド

施策体系図

基本理念	基本方針	基本施策
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;"> 1300年の時に触れ、心満たされる、 “また来たくなる” “勧めたくなる” まち 防府 </p>	<p>1. 心動かす効果的な情報発信</p>	<p>(1) 観光需要を取り込む 効果的な情報発信</p>
		<p>(2) 連携で進める積極的な売り込み</p>
	<p>2. 心地よい滞在環境の整備</p>	<p>(1) 歴史・文化を体感できる 環境づくり</p>
		<p>(2) 安心して快適な環境づくり</p>
	<p>3. 心弾むおもてなしの充実</p>	<p>(1) 恵まれた観光資源を活かした おもてなし</p>
		<p>(2) 官民連携による 多彩なイベントの開催</p>
<p>(3) 防府への誇りと愛着を持った おもてなし人材の育成</p>		

【重点】 第6次防府市総合計画における観光分野の重点プロジェクトに掲げた取組
【集中展開】 . . . 期間を集中して進める取組

主な取組

- ・国内外に向けた「すごいぞ！防府」4つの観光拠点の魅力発信 **【重点】**
- ・防府天満宮御神忌1125年式年大祭などの歴史的な節目を契機とした情報発信 **【重点・集中展開：R8】**
- ・「TWILIGHT EXPRESS 瑞風」の立ち寄りを活かした情報発信 **【重点】**
- ・新山口駅や山口宇部空港などの主要交通拠点を活用した情報発信 **【重点】**
- ・「すごいぞ！防府」4つの観光拠点を舞台とした歴史観光講演会の開催 **【重点・集中展開：R8】**
- ・笑い講（小俣八幡宮）や占手神事（玉祖神社）などの伝統行事の魅力発信
- ・周防国衙跡や英雲荘、萩往還、旧山陽道、三田尻塩田記念産業公園、山頭火ふるさと館などの歴史・文化施設の魅力発信
- ・右田ヶ岳や大平山、佐波川、富海・野島の美しい海などの豊かな自然の魅力発信
- ・テレビ・ラジオ・新聞など既存マスメディアを活用した、県内・中国・九州地方を主なターゲットとした情報発信
- ・ホームページやSNSを活用した情報発信
- ・情報伝達力の高い動画による情報発信
- ・多彩な観光資源を巡るモデルコースの造成・情報発信
- ・ほうふ宣伝部長「ぶっちー」による情報発信
- ・山口県央連携都市圏域や周南観光連携協定などの広域連携を活かした情報発信
- ・AIなどのデジタル技術の活用

- ・山口DCを活かしたJRグループや山口県などと連携したプロモーション・売り込み強化・旅行商品造成支援 **【重点・集中展開：～R9】**
- ・チャーター便の就航やクルーズ船の寄港を活かした、台湾や韓国などの東アジアを主なターゲットとした誘客 **【重点】**
- ・山口県などと連携した海外現地でのプロモーション
- ・国内外の旅行会社等に向けた各種商談会での売り込み
- ・官民連携で進めるクルーズ船の誘致
- ・防府観光コンベンション協会や防府商工会議所などと連携した口ケ誘致
- ・団体旅行助成金による旅行商品造成支援

- ・市道天神町協和線の整備やタペストリー設置などの景観整備による、防府天満宮表参道周辺のさらなる魅力向上 **【重点・集中展開：～R10】**
- ・歴史的建造物や文化財の整備・保存・継承 **【重点】**
- ・「TWILIGHT EXPRESS 瑞風」の立ち寄りを活かした景観やまちなみの保全・整備
- ・英雲荘や三田尻塩田記念産業公園、山頭火ふるさと館など、防府の歴史や文化を今に伝える文化観光施設の維持管理・魅力向上
- ・周防国衙跡の活用促進

- ・観光案内看板や観光パンフレットなどの整備・多言語化 **【重点】**
- ・観光案内所の運営・維持管理
- ・まちの駅うめてらす、サイクリングターミナルなど、交流や滞在の拠点となる施設の維持管理・魅力向上
- ・富海・野島海水浴場の環境美化・安全管理
- ・観光駐車場や観光用公衆トイレ、休憩施設の維持管理・整備
- ・大規模イベント時などの駐車場やトイレの臨時設置
- ・レンタサイクルサービスの充実
- ・二次交通や宿泊施設、赤ちゃんの駅などに関する情報の収集と発信
- ・うめてらすネットワークなどと連携した観光案内機能等の充実
- ・AIなどのデジタル技術の活用（再掲）

- ・山口DCを活かした体験型観光商品の造成・販売 **【重点・集中展開：～R9】**
- ・国や県の事業を活用した観光商品の造成・販売促進 **【重点】**
- ・富海・野島での海水浴や右田ヶ岳での登山など、豊かな自然を活かした体験の提供 **【重点】**
- ・山口県央連携都市圏域や周南観光連携協定などの広域連携を活かした周遊事業の実施 **【重点】**
- ・観光資源や体験型観光商品などの連携による市内周遊を促す仕掛けづくり
- ・外郎や練り物など魅力的な土産物のさらなる充実
- ・夏の「鱧」、冬の「河豚」の継続的な販売
- ・ほうふ宣伝部長「ぶっちー」によるおもてなし

- ・春夏秋冬に合わせた「幸せますフェスタ」の開催 **【重点】**
- ・“もちまき文化”の魅力を活かした販わいの創出 **【重点】**
- ・毛利家本邸完成110周年（2026年）などの歴史的な節目を活かしたイベントの開催
- ・英雲荘や三田尻塩田記念産業公園、山頭火ふるさと館などの文化観光施設を活用したイベント等の開催
- ・防府読売マラソンやレノファ山口、防府競輪などのスポーツ資源と連携した販わいの創出

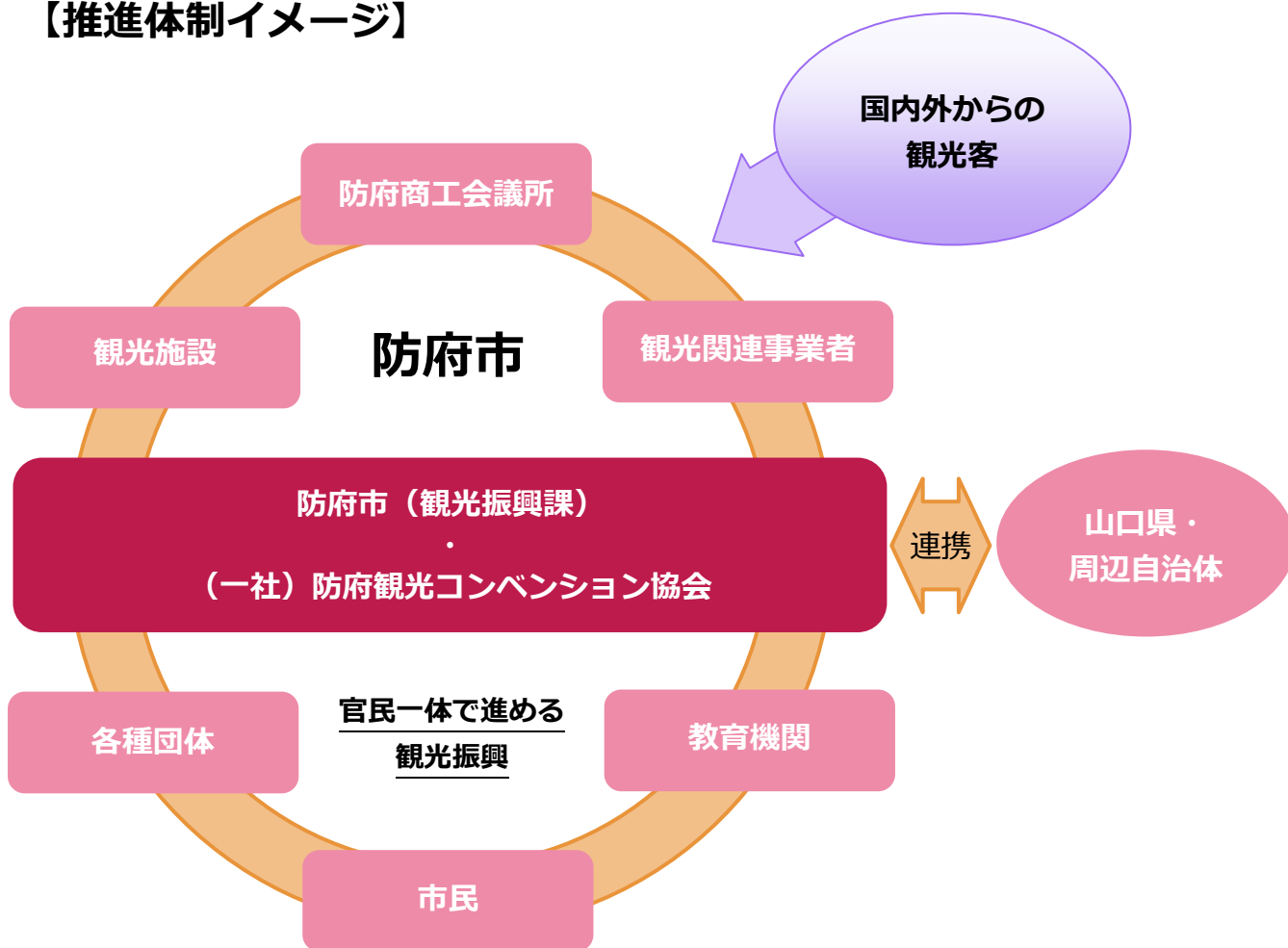
- ・教育機関等と連携した観光教育への参画
- ・「防府歴史・文化財読本」等を活用したふるさと防府に対する誇りと愛着の醸成
- ・観光ガイドの育成・支援

第5章 計画の推進に向けて

1. 推進体制

本計画に掲げた基本理念である「1300年の時に触れ、心満たされる、“また来たくなる” “勤めたくなる” まち 防府」を目指し、防府市と一般社団法人防府観光コンベンション協会が中心となって、防府商工会議所、各観光施設、観光関連事業者、山口県、周辺自治体などと連携を図りながら計画を推進します。

【推進体制イメージ】



2. 進行管理

本計画の進捗状況や目標値の達成状況を確認するため、WEBアンケート調査などにより本市を訪れる観光客の傾向や満足度、消費額などに関するデータを収集・分析し、毎年度「防府市観光振興推進協議会」において報告するとともに、観光振興に関する意見をお聴きし、施策や取組の改善を図ります。また、進捗状況や目標値の達成状況は、防府市公式ホームページで公表します。

資料

1. 計画策定の経過

本計画の策定にあたっては、市民や観光関連の事業者・団体、学識経験者などで構成される「防府市観光振興推進協議会」において協議等が行われました。

2024年度第2回防府市観光振興推進協議会 <2025年3月28日(金)>

- 第3次防府市観光振興基本計画の進捗状況について
- 2025年度事業の概要について
- 第4次防府市観光振興基本計画について

基礎調査 <2025年3月～7月>

- 国・県の統計、WEBアンケート調査によるデータ収集・分析
- 上位計画、関連計画等の整理
- 第4次防府市観光振興基本計画(素案)の作成

防府市観光振興推進協議会委員への文書による意見照会

<2025年7月25日(金)～8月22日(金)>

- 第4次防府市観光振興基本計画(素案)について

2025年度第1回防府市観光振興推進協議会 <2025年10月2日(木)>

- 第4次防府市観光振興基本計画(案)について

防府市議会へ説明 <2025年10月8日(水)>

防府市観光振興推進協議会及び防府市議会の意見等を踏まえた

第4次防府市観光振興基本計画(案)の修正

防府市観光振興推進協議会委員へパブリックコメント実施の説明(文書送付)

<2025年11月上旬>

防府市議会へパブリックコメント実施の説明 <2025年11月10日(月)>

以降の予定

- パブリックコメントの実施・結果公表
- 防府市観光振興推進協議会での最終案承認
- 第4次防府市観光振興基本計画の公表

2. 防府市観光振興推進協議会設置要綱

防府市観光振興推進協議会設置要綱

平成23年7月8日制定

(目的及び設置)

第1条 防府市観光振興基本計画（以下「計画」という。）の推進にあたり、防府市観光振興推進協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

(協議事項)

第2条 協議会は、次に掲げる事項について協議する。

- (1) 計画の進捗管理及び成果検証に関する事項
- (2) 計画の策定及び変更に関する事項
- (3) その他観光振興に関する事項

(組織)

第3条 協議会は、次に掲げる者のうちから市長が依頼する委員をもって構成する。

- (1) 学識経験者
- (2) 観光関係団体の代表
- (3) 市民の代表
- (4) 市民活動団体の代表
- (5) 観光関連事業者
- (6) 行政関係機関の職員

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、令和8年3月31日までとする。

(会長及び副会長)

第5条 協議会に会長及び副会長を置き、会長は委員の互選とし、副会長は会長が指名する。

- 2 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 協議会の会議（以下「会議」という。）は、会長が招集する。ただし、会長の任期満了後最初に行われる会議は、市長が招集するものとする。

- 2 会議の議長は、会長をもって充てる。
- 3 会議は、委員の半数以上が出席しなければ、開くことができない。
- 4 第3条第2号及び第4号から6号に掲げる委員は、やむを得ない理由により会議に出席できないときは、当該団体の構成員を代理人として出席させることができる。ただし、あらかじめ代理出席届（別紙様式）の提出により、会長の承認を得た場合に限る。

(説明等の聴取)

第7条 会長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、説明又は意見を求めることができる。

(会議の公開)

第8条 会議は、原則公開とする。

(事務局)

第9条 協議会の事務局は、文化スポーツ観光交流部観光振興課に置く。

2 事務局長は、観光振興課長をもって充てる。

(その他)

第10条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

附 則

この要綱は、平成23年7月8日から施行する。

附 則

この要綱は、平成26年10月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成31年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、令和3年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、令和5年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、令和7年4月1日から施行する。

3. 防府市観光振興推進協議会委員名簿

No.	区分	委員名	所属
1	学識経験	國崎 歩	山口大学経済学部 准教授
2	観光関係団体	松田 和彦	防府商工会議所 専務理事
3	観光関係団体	中司 達美	(一社)防府観光コンベンション協会 副会長
4	観光関係団体	宇野 好一	防府観光物産協会 会長
5	観光関係団体	達川 政明	天神町銀座商店街振興組合 理事長
6	行政関係機関	吉谷 由紀恵	(一社)山口県観光連盟 ゼネラルマネージャー
7	市民（一般公募）	田中 元昭	-
8	市民（一般公募）	西村 和能	-
9	市民活動団体	京井 和子	特定非営利活動法人 市民活動さぽーとねっと
10	観光関連事業者 （旅行業者）	丹 康二	(株) J T B 山口支店 支店長
11	観光関連事業者 （産業観光関係者）	田中 真二	マツダ（株）防府工場 総務部長

令和7年4月1日現在

第4次防府市観光振興基本計画
202*年*月

- 編集・発行 防府市文化スポーツ観光交流部観光振興課
〒747-8501 山口県防府市寿町7番1号
電 話 0835-25-4547
FAX 0835-25-5578
E-Mail kankou@city.hofu.yamaguchi.jp
-